

筆者は上記「茨城による建物の振動性状について」と題し、某鉄筋4階建ビル群の振動調査の
 課について報告したが、本文は前報に引まつて、同建物の当時見られた現象が直接~~振動~~による
 ものであるか否かについて検討を加えたいものである。したがって、調査方法、実験条件その他、主
 要ビルの一般振動性状については前報と参照せよ。

1. 建物の振動変形および変形

図-1は試験茨城によるA, B両ビルの最大振動時における変形状態を示したものである。しかし
 この茨城は工事期間中における最大茨城がけのりであり、両ビルはそれぞれ受けた最大茨城によ
 る回数については調査する必要はない。このため工事日誌より、工事開始から現在までの日
 々の平均、最大および最小振幅と鋼骨柱の10日ごとの値とを示せば図-2のようになる。

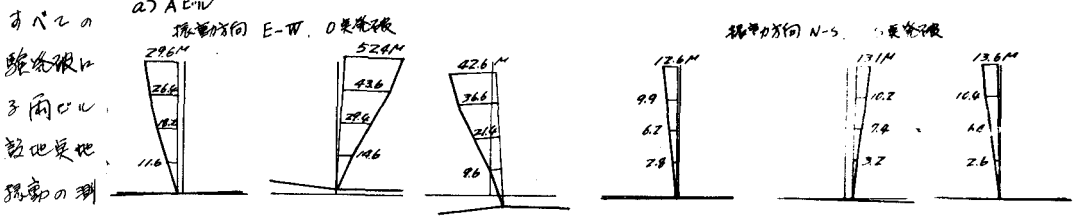


図-1は試験
 式により
 の振動に
 のよう
 中の曲線
 による計
 算値と、
 鋼骨柱の
 左右の部
 分はは

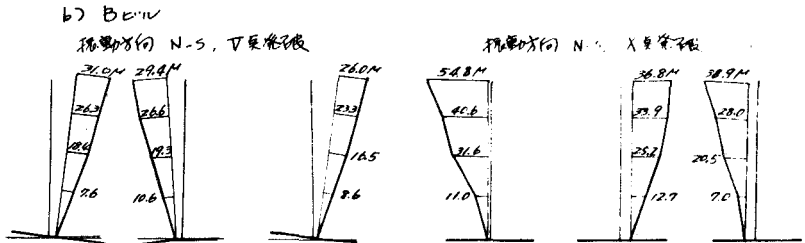


図-1 建物の振動変形

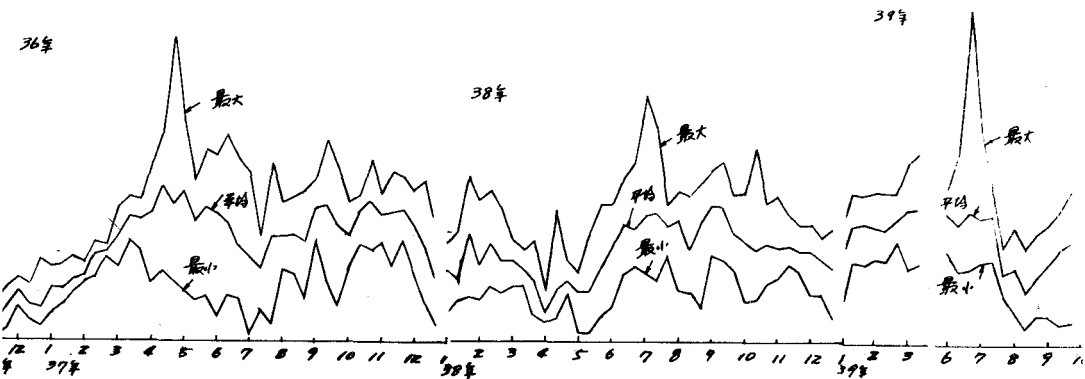


図-2 10日ごとの日平均、最大および最小振幅

水AおよびBビルに對する実測値と、△0号は前回の同様の実測値、○0号は今回の実測値を示

